

第5章 主要施策と施策の展開

「安全」： 安心で安全なおいしい水の供給

安心で安全な水を供給するため、水質検査体制の確保や自己水源の保全、原水水質が悪化した場合への対策等の検討を進めます。

主要施策①： 自己水（市水）の有効活用

水道水の安定供給と災害時の危機管理対応を目的に、今後も自己水を有効活用することとし、適正な取水量を確保するために必要な方策を推進します。

具体的な施策

- 取水施設の計画的な点検・清掃・修繕・更新
 - 取水量の継続的なモニタリングを行うことによる適正な取水量の維持
 - 施設老朽化により取水量の低下した深井戸の更新検討

主要施策②： 水質の安全性への対応

水源水質の変化や有害物質に汚染された場合においても対応可能な浄水処理方式を検討し、常に安全な水道水の供給ができる体制作りを推進します。

具体的な施策

- 水質変化等に対応可能な浄水処理方法の検討
 - 原水に含まれる物質の変化や臭気や色度の上昇等、現在の処理方式では対応が困難となる場合に備えて、新たな処理方式の導入検討

主要施策③ : 適切な水質管理

原水水質の状態に関わらず、いつも一定の水質基準を持たした水道水の供給を行うことができる体制づくりを推進します。

具体的な施策

- 「水安全計画」による水質管理の実施
 - 水源水質のモニタリングや浄水場から蛇口に至るまでの包括的な水質監視を行い、適切な水質管理計画の策定と安全で安心な水道水の供給

「強靱」 : 災害に強く安定的に供給できる水道

水道施設の運用期間の長期化を図るとともに、災害への備えとして必要な耐震性能の確保に努めます。また、緊急時に備えた危機管理体制の拡充を図ります。

主要施策① : 水道施設および管路の経年化対策

水道施設の適切な点検・修繕を行って運用期間の長期化を図るとともに、施設の重要度や耐震性能の有無を考慮して運用期間を設定し、水需要に応じた施設規模や合理的な施設配置となるよう計画的な更新を図ります。

具体的な施策

- 施設・管路の適切な点検・維持管理の実施
 - 施設への計画的な点検と点検結果を反映させた予防保全的修繕の実施
 - 管路漏水への速やかな修繕対応による有収水量の維持・向上

具体的な施策（続き）

- 施設・管路の運用期間の設定、計画的な更新
 - 適切な維持管理（補修、補強 等）による施設運用の長寿命化の推進
 - 施設の特性や重要度を踏まえ、安定運用を考慮した運用期間の設定と更新

主要施策② ： 水道施設および管路の耐震化や浸水対策

近い将来に発生すると予想される南海トラフ大地震などの自然災害への備え、重要度や運用に伴う優先度を考慮しつつ、耐震基準を満たさない施設及び管路について耐震化や更新を実施し、施設や管路への被害軽減や早期の復旧を図ります。

大型化している台風や線状降水帯の発生による集中豪雨等が原因の河川の増水や内水氾濫に備え、施設への浸水対策を講じます。



具体的な施策

- 既設配水池の耐震補強
 - 最新の耐震基準を満たさない既設配水池への耐震補強工事の実施
 - ✓ 南部配水場 - 既設配水池（4,000 m³） 1 基
 - ✓ 一ツ木配水場 - 既設配水池（3,000 m³） 2 基
 - ✓ 横根配水場 - 既設配水池（4,000 m³） 1 基

- 水源浄水場の施設更新
 - 最新の耐震基準を満たさず、耐震補強工事が難しい土木構造物の全面更新
 - ✓ 酸化槽や薬品混和池、重力ろ過池等の「浄水施設」 一 式
 - ✓ 配水ポンプ室や配水池等の「配水施設」 一 式
 - ✓ その他、凝集沈殿池等の「污泥処理施設」 一 式

- 重要給水施設管路の耐震化
 - 「重要給水施設管路」に対する、優先的かつ速やかな耐震管への布設替えの推進

主要施策③ : 災害時等における水道水の確保

水道施設の安定運用や自然災害による被災、施設の緊急停止等に備え、将来の水需要を踏まえた適切な規模の配水池容量へと水道施設の機能強化を行うことで、緊急時における必要な水の確保を図ります。



具体的な施策

- 適正な配水池容量の確保
 - 施設の安定運用や災害時の緊急用水貯留を目的とした新設配水池の築造
 - ✓ 南部配水場 - 配水池 4,000 m³築造 1 基
(既設地下式 2,000 m³配水池の運用廃止を含)
 - ✓ 一ツ木配水場 - 配水池 2,000 m³築造 1 基
(既設地上式 2,500 m³配水池の運用廃止を含)

「持続」 : 次世代へつなぐ事業運営

運営基盤の強化を図り、将来に続く健全経営に努めるとともに、市民へ水道に関する理解を深めてもらえるよう努めます。

主要施策① : 経営基盤の強化

投資と財政の均衡を図り、中長期的な視点で運営基盤の強化に努めるとともに、先進的な事例を取り入れたコスト縮減等に努めます。



具体的な施策

- 水道事業経営戦略の策定・公表
 - 投資試算（施設・設備への老朽化・耐震化対策等の投資の見通し）と財源試算（料金収入等の財源の見通し）を均衡させた「投資・財政計画」を策定

主要施策② : 運営体制の強化

水道事業を取り巻く環境の変化に対応できる運営体制の強化を図るため、適切な投資や収入増加への取り組み、水道事業運営に必要な人員人材の確保や人材育成、施設の維持管理等に不可欠な技術力の継承に努めます。



具体的な施策

- 民間業者への業務委託の継続・拡充
 - 民間のノウハウを活用することによる効率的な業務の遂行やコストの縮減、利用者サービスの向上
- 省エネルギー対策や施設規模の適正化
 - 省エネルギー設備の導入による施設運転動力費の縮減
 - 水需要に合わせた施設・管路のダウンサイジングによる投資費用の縮減
- 料金収入等の収益の増加や経費の縮減
 - 健全な経営を維持するため、適正な料金の設定
 - マイクロ水力発電やネーミングライツ、広告掲示、効果的な資金運用方法等による営業外収益の増加手法の検討
 - 電力入手先の変更や水需要に合わせた県水承認受水量の見直しによる経費の縮減
- 適正な人員人材の確保、技術力の継承
 - ICT や AI 等の新技術等を活用した業務の効率化による職員の適正配置
 - 水道特有の技術力継承に必要な職員確保や人材育成
 - 専門的な知識や技術の習得のため、外部研修等への積極的な参加

主要施策③ : 事業の効率化

水道法改正に伴う水道事業を取り巻く環境の変化に対応するため、県や近隣市町との情報共有や民間技術力の導入等、適切に対応できるよう調査・研究に努めます。



具体的な施策

- 水道事業広域連携に関する調査・研究
 - 愛知県水道広域化研究会議への参加及び広域連携に関する情報収集
- 官民連携による経営効率化の調査・研究
 - 料金収納業務や水道施設の運転管理等を含めた包括的な委託の拡充に関する調査・研究
 - 水道施設の設計・施工・運転管理等の業務について、民間業者の資金とノウハウの活用可能性（PFI等の導入）に関する調査・研究

主要施策④ : 利用者への情報発信

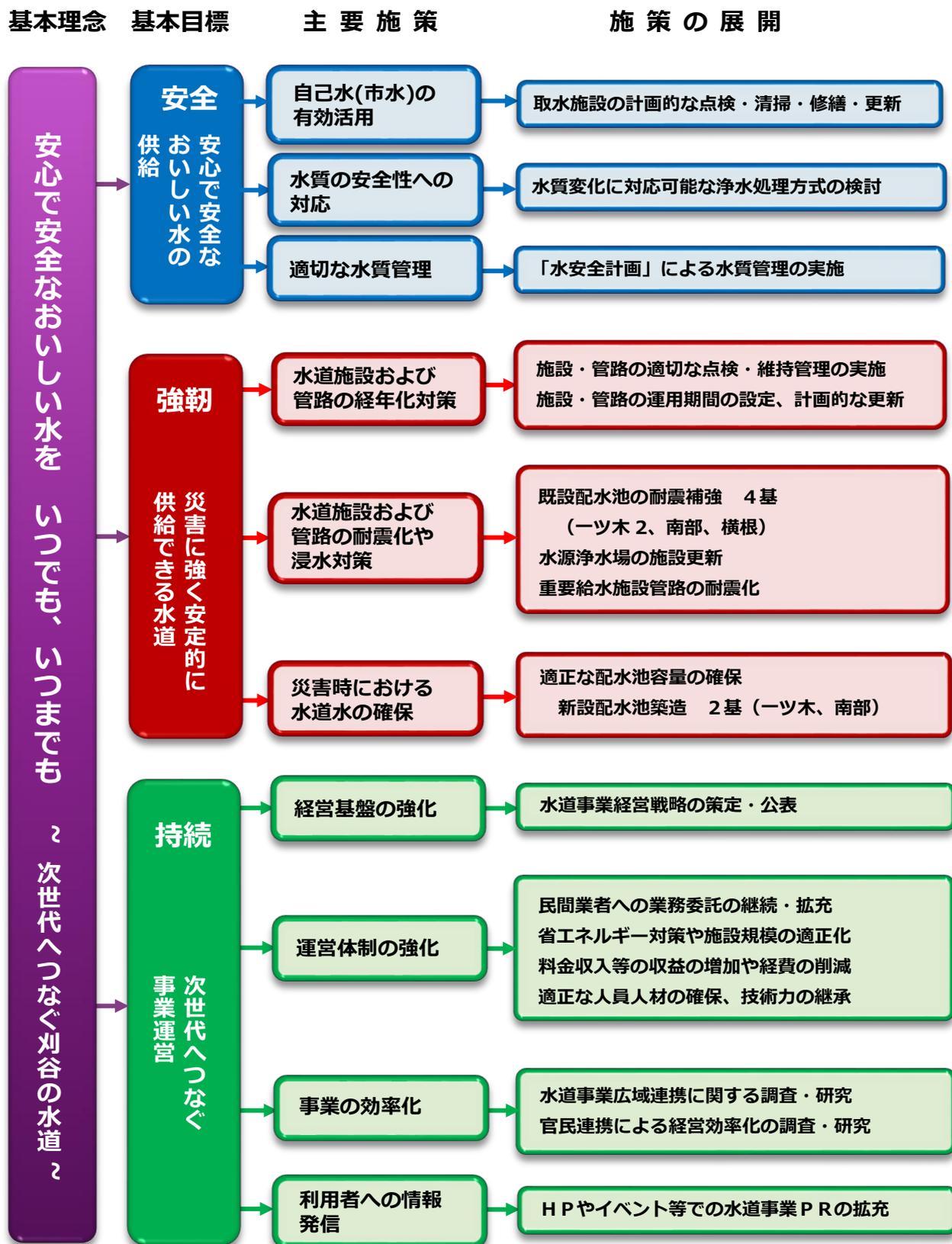
市民の水道事業に関する理解を深めるため、水道に関する情報提供の拡充や多様化するニーズへの対応に努めます。



具体的な施策

- ホームページやイベントなどでの水道事業PRの拡充
 - わんさか祭りでのアンケート実施による、市民の幅広いニーズの把握
 - 市民だよりや市ホームページによる、水道事業の経営成績や財政状態の公開

基本理念及び基本目標を実現するために必要な主要施策及びその展開についてまとめた施策の体系図は、以下に示すとおりです。



施策の体系図